



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 理研コランダム株式会社
コード番号 5395 URL <http://www.rikencorundum.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下村 洋喜

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 杉浦 順

TEL 048-596-4411

四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	3,335	△3.1	49	△47.6	157	△13.5	148	2.0
26年12月期第3四半期	3,442	1.9	94	33.0	181	34.5	145	50.6

(注)包括利益 27年12月期第3四半期 369百万円 (129.0%) 26年12月期第3四半期 161百万円 (△46.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	16.00	—
26年12月期第3四半期	15.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	7,369	4,922	66.8
26年12月期	6,831	4,609	67.5

(参考)自己資本 27年12月期第3四半期 4,922百万円 26年12月期 4,609百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
27年12月期	—	3.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,593	△1.3	74	△39.6	212	△16.4	191	△4.4	20.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期3Q	10,000,000 株	26年12月期	10,000,000 株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	775,022 株	26年12月期	774,370 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期3Q	9,225,248 株	26年12月期3Q	9,239,457 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提となる条件等については、[添付資料]P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に弱さもみられたものの、雇用・所得環境の改善等から、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。ただし、生産については、月次での鉱工業生産指数が概ね前年同月水準を割り込む等、弱含みの動きとなりました。

このようななか、当社グループの売上については、ユーザーである製造業の生産推移と相まって前年同期との比較では下回り、売上高3,334,709千円（前年同期比3.1%減）となりました。

利益面につきましては、輸入原材料価格の上昇や昨年中での不動産賃料改定の影響等から、営業利益は49,056千円（前年同期比47.6%減）となりました。また、持分法適用関連会社である中国の研磨布紙製品製造販売の合弁会社「淄博理研泰山涂附磨具有限公司」の好業績寄与等から営業外収益が107,654千円（前年同期比23.1%増）であったことから、経常利益は156,710千円（前年同期比13.5%減）、四半期純利益は147,637千円（前年同期比2.0%増）となりました。

セグメントの概況は、以下のとおりであります。

(研磨布紙等製造販売事業)

当社グループの中核事業である研磨布紙等製造販売事業の当第3四半期連結累計期間の業況は、コンシューマ向けや海外向け全般については堅調であったものの、主要販売業種先である住宅建材業界向けやソーラー加工業界向けが引き続き軟調であったこと等から、売上高は2,686,720千円（前年同期比4.3%減）となりました。また利益面では、売上高減少や輸入原材料価格上昇に伴う影響等から、21,921千円（前年同期比51.8%減）となりました。

(OA器材部材等製造販売事業)

当社グループは、複写機、ATM、ファクシミリ、印刷機等の事務機器に組み込まれる紙送り用各種ローラー部品を受注生産しております。

グリップローラーやスポット物の受注が増加したことから、売上高は458,989千円（前年同期比7.0%増）、営業利益は73,079千円（前年同期比17.4%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

株式会社ダイエーに賃貸しております理研神谷ビルの平成26年3月の賃料改定要因から、賃料収入による売上は189,000千円（前年同期比8.1%減）、また営業利益は耐震補強工事による負担増要因もあり136,019千円（前年同期比12.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ537,671千円増加し、7,369,005千円になりました。これは主に、耐震補強工事に伴い有形固定資産が103,746千円増加、時価評価額の増加等により投資有価証券が374,087千円増加、また持分法投資利益等の計上により関係会社出資金が41,967千円増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度に比べ224,439千円増加し、2,446,621千円になりました。これは主に仕入高の減少により支払手形及び買掛金が155,731千円、設備関係支払手形が期日到来により119,071千円、および固定資産の取得により圧縮見込相当額である圧縮未決算特別勘定が106,523千円、それぞれ減少した一方、資金調達を受取手形の割引から借入による方法に変更したことおよび耐震補強工事の支払いのため借入金が524,987千円増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ313,232千円増加し、4,922,384千円になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の業績予想につきましては、平成27年8月4日に公表致しました予想と変更はございません。今後も情報収集に努め、業績への重大な影響が見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

また、今後も全社一丸となって業容拡大に向け、新製品、新市場の開発等に全力を挙げて取り組んでまいり所存であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

(i) 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基盤として合理的な方法により算定する方法によっております。

(ii) 繰延税金資産及び繰延税負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	540,171	445,451
受取手形及び売掛金	1,046,902	1,050,798
商品及び製品	670,500	670,023
仕掛品	528,684	635,039
原材料及び貯蔵品	214,765	169,936
その他	67,090	124,109
貸倒引当金	△808	△597
流動資産合計	3,067,304	3,094,759
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,471,910	3,792,260
減価償却累計額	△2,576,444	△2,619,466
建物及び構築物(純額)	895,466	1,172,794
機械装置及び運搬具	1,715,941	1,744,045
減価償却累計額	△1,542,688	△1,576,069
機械装置及び運搬具(純額)	173,253	167,976
その他	1,129,370	970,846
減価償却累計額	△402,161	△411,942
その他(純額)	727,209	558,904
有形固定資産合計	1,795,928	1,899,674
無形固定資産		
投資その他の資産	38,766	38,195
投資有価証券	706,626	1,080,713
関係会社出資金	1,163,686	1,205,653
退職給付に係る資産	13,934	9,455
その他	63,490	65,706
貸倒引当金	△18,400	△25,150
投資その他の資産合計	1,929,336	2,336,377
固定資産合計	3,764,030	4,274,246
資産合計	6,831,334	7,369,005

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	818,966	663,235
設備関係支払手形	209,985	90,914
短期借入金	80,000	32,000
1年内返済予定の長期借入金	131,908	247,096
未払法人税等	16,422	24,508
賞与引当金	—	36,800
圧縮未決算特別勘定	176,654	70,131
その他	158,004	122,889
流動負債合計	1,591,939	1,287,573
固定負債		
長期借入金	233,492	691,291
繰延税金負債	159,506	286,152
修繕引当金	54,933	58,543
役員退職慰労引当金	96,040	47,000
長期預り金	50,000	50,000
資産除去債務	9,047	9,184
その他	27,225	16,878
固定負債合計	630,243	1,159,048
負債合計	2,222,182	2,446,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	98,753	98,753
利益剰余金	3,672,727	3,765,012
自己株式	△146,871	△147,012
株主資本合計	4,124,609	4,216,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152,317	414,136
繰延ヘッジ損益	4,808	△878
為替換算調整勘定	327,418	292,373
その他の包括利益累計額合計	484,543	705,631
純資産合計	4,609,152	4,922,384
負債純資産合計	6,831,334	7,369,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,442,399	3,334,709
売上原価	2,580,953	2,513,139
売上総利益	861,446	821,570
販売費及び一般管理費	767,781	772,514
営業利益	93,665	49,056
営業外収益		
受取配当金	8,898	11,375
持分法による投資利益	82,718	102,722
為替差益	5,765	—
その他	7,842	7,974
営業外収益合計	105,223	122,071
営業外費用		
支払利息	4,838	4,300
売上割引	8,250	7,890
為替差損	—	870
その他	4,688	1,357
営業外費用合計	17,776	14,417
経常利益	181,112	156,710
特別利益		
圧縮未決算特別勘定戻入額	—	106,522
補助金収入	66,803	—
受取保険金	65,925	—
特別利益合計	132,728	106,522
特別損失		
災害による損失	60,524	5,800
固定資産除却損	881	—
固定資産圧縮損	64,867	88,523
特別損失合計	126,272	94,323
税金等調整前四半期純利益	187,568	168,909
法人税、住民税及び事業税	37,129	26,338
法人税等調整額	5,662	△5,066
法人税等合計	42,791	21,272
少数株主損益調整前四半期純利益	144,777	147,637
四半期純利益	144,777	147,637

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	144,777	147,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,983	261,819
繰延ヘッジ損益	△902	△5,686
為替換算調整勘定	1,860	△1,601
持分法適用会社に対する持分相当額	20,235	△33,443
その他の包括利益合計	16,210	221,089
四半期包括利益	160,987	368,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,987	368,725
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	研磨布紙等 製造販売事業	OA器材部材等 製造販売事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,807,862	428,892	205,645	3,442,399	—	3,442,399
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,807,862	428,892	205,645	3,442,399	—	3,442,399
セグメント利益	45,523	62,229	154,639	262,391	△168,726	93,665

(注) 1. セグメント利益の調整額△168,726千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に連結財務諸表提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	研磨布紙等 製造販売事業	OA器材部材等 製造販売事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,686,720	458,989	189,000	3,334,709	—	3,334,709
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,686,720	458,989	189,000	3,334,709	—	3,334,709
セグメント利益	21,921	73,079	136,019	231,019	△181,963	49,056

(注) 1. セグメント利益の調整額△181,963千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に連結財務諸表提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。